

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。  
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。  
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。  
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. D-86

部門名： 校内研修プログラム開発・実践部門	エントリー名： 愛知県立岡崎北高等学校
活動名： 教職員ビブリオバトル研修 -言葉を尽くして本の魅力を伝える-	
解決すべき課題： 平成 2 8 年度から生徒の読書推進活動の一環としてビブリオバトルを取り入れている。しかし、ビブリオバトルそのものに対する教職員の認識が浅く、活動への理解も十分とは言えないものであった。	
目標・方針： まずは教職員自らがビブリオバトルを体験し、その特性と魅力を理解してもらうことにした。教職員への活動の周知を図ることにより、学校全体としての取り組みへ拡大させることを考えた。	
活動内容： 現職研修の活動として、3 年ごとにビブリオバトルを実施した。5 人ずつのグループに分かれて予選を実施し、決勝進出者 1 0 名の教職員が本を紹介するというものである。発表後、どの本が読みたくなったかを基準に投票し、チャンプ本を選出した。平成 2 9 年度のビブリオバトルでは、言語学の専門書が選ばれた。今年度も全職員が参加し、本屋大賞にノミネートされた「ツバキ文具店」(小川糸著) が選出された。	
活動の成果： 平成 2 9 年度と令和元年度の 2 回の研修を経て、教職員のビブリオバトルへの認知度もかなり高まった。この結果、校内にビブリオバトルを盛り上げようという雰囲気醸成され、図書館活動の活性化につながっている。具体的には、以前は図書委員会の場で行っていたチャンプ本選出を、昨年度からは学校祭の場でビブリオバトルを実施し、県大会に出場する代表を全校生徒の投票で選出するようになった。大好きな本を紹介する愛ある言葉に多くの生徒が魅了され、とても盛り上がった。そして、昨年度の愛知県大会では本校の代表生徒が準優勝した。また、読書推進授業として、ビブリオバトルを実施するクラスもあり、生徒同士で本を紹介する姿がみられるようになった。	
アピールポイント (アイデアや工夫) ・教職員のビブリオバトル研修を通して、職員室での教職員の姿とは異なる一面が垣間見られ、教科・世代を超えた、職場内での相互理解の一助となった。 ・チャンプ本を紹介した教員が図書館教養講座の講師となり、普段の授業とは異なるお話をいただいた。 ・教職員のビブリオバトルをきっかけに、先生方の専門分野を知ることができ、そのことが大学入試における小論文指導に活かされた。	

<写真、図表添付欄>

教職員ビブリオバトル研修(令和元年度)

予選の様子

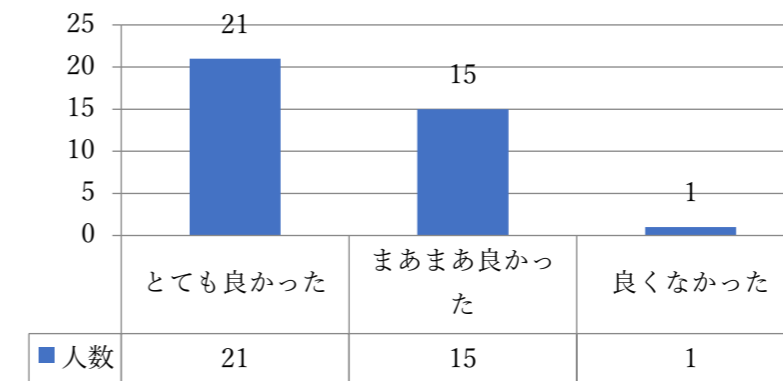


決勝の様子



図書委員へのアンケート (令和元年度)

(1) 全校生徒の前で決勝を実施した感想を教えてください。



(2) ビブリオバトルを経験してみて感じたことを教えてください。(複数回答可)

